

当店の創業は大正5年頃より祖母が魚の棒手振りを始め、大正7年に店を構え色々な食品や、桑の葉も取り扱ったそうです。祖父は木工で、関・燕温泉の旅館を建てたり、八幡宮の大鳥居や稲荷社を建てたそうです。関・燕温泉に3〜4カ月泊まり込みで行くことがあり、その間、家に残った弟子達を祖母達が魚屋をやりながら面倒をみたそうです。若宮の店の近くに停車場があり、七谷の人達の

憩いの場として、お茶をのんだり軽い食事と銚子1本が加茂に来る楽しみだったそうです。先代十二(トウジ)・ミヤさんは時々七谷のお客様の家に泊り込み、祝事や法事などの出張料理人をやった村の人に喜ばれていました。昭和30年代中ごろから40年代初めまで柏崎や津川などから通う加茂農林学校の生徒の下宿を引き受けていました。その後二階を改装し宴会場を作

(有)天神屋会館
社長 酒井藤男



りました。時代も高度成長の時で東芝を始めとする企業の皆様から忘年会や新年会などで利用していただきました。昭和58年に秋房に天神屋会館を新築し、総合宴会場として営業を始めました。平成25年には店を改装し、ランチが出来る大正ロマン風の会場を作りお客様に喜んでいただきました。令和に入るとコロナ禍があり食文化が変わ

っていきました。何か工夫が出来ないと考え続けています。先代の集めた書画骨董や、酒樽を利用したヒーリングルーム、ビアガーデンが出来ると設備など食事とともに楽しんでいただきたいと思っています。健康に良い桃で作る甘酒や、加茂発のロングマカロニを知っていたら活動など、これから先に繋がる活動を続けていきたいと思っています。魚を扱って百有余年、山菜を始めとする地物産品を大切に新しいものを取り入れ、時代に合わせ和洋折衷料理を出し喜んでいただきたいと思っています。今までの市内外多くの方々からご愛顧いただきありがとうございます。

これからも家業を続けていきたいと思います。



市内事業所の
個性豊かな社長さんや
店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。
いつかあなたにも繋がるかも?

いいともボタン：No.45 登場の中林辰之さん ➡ 高井雅子さん



左／高井雅子さん 右／西村太佑さん

いいとも No.46

「(株)高井モータース」(旭町)高井雅子さんの「とものわ」は、「(株)ニシトク」(新栄町)専務の西村太佑さん。お二人のご縁をさかのぼると、なんと生まれる前から?! お母さん同士が出産前の「母親学級」で仲良くなったのをきっかけに家族ぐるみの付き合いが始まり、同じ幼稚園、小学校へ進みます。その後は学校が分かれたものの、二人とも結婚を機に加茂市へ戻り、それぞれの家業を継ぎました。今でも何か困ったことがあると連絡する間柄とのこと。長い時間をかけて築かれた信頼関係が、ずっと続いているなんて本当に素敵なお話ですね。いろいろな形の出会いはありますが、一つひとつ大切にしていきたいものです。